

がん検診「PET検診」のご案内

～いつまでも健康でいたいから～

「PET（ペット）検診」は、がんの早期発見や進行、転移、再発を調べるための最新鋭のがん検査医療装置PET-CTを用いたがん検診です。

PET-CTは、病巣部を速やかに診断する「PET画像」と、細かな位置情報を見つける「CT画像」がひとつになったシステムです。

PET検査とCT検査を一度にできるので、診断の精度が向上し、より詳細な病変を検出することが可能になります。

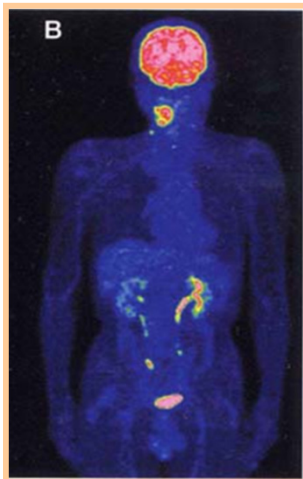
一度にほぼ全身の検査ができるため、自覚症状のない方の検診に適しています。

健康はかけがえのない財産です。

「PET検診」を、がんの早期発見にお役立ていただきたいと思えます。

ご利用をお待ちしています。

<検査の限界>がんの種類や部位または装置の性能を超えるような小さな病変は見つかりにくいことがあります。PET-CT検査は万能でないことをご理解ください。



●PET検診コース

86,400円（税込）

実施日：月～金曜日
（土・日・祝祭日を除く）
午後1時30分～午後5時頃まで

がんの早期発見をめざした検査です。
受付から終了までの時間は約3時間30分です。
ご希望により、後日専門医師が検診結果の説明を行います。（要予約）

申し込み方法（予約制）

- ご希望の方は、お電話、または当院ホームページからお申し込みください。
- お電話での申し込み受付は、月～金曜日（土日祝祭日除く）午前9時から午後5時まで（お電話の申込みの場合、仮予約後別途申込書類一式をお送りします。）
- ホームページでの申し込み受付は、「PET検診申込みフォーム」からお願いします。

申し込み先

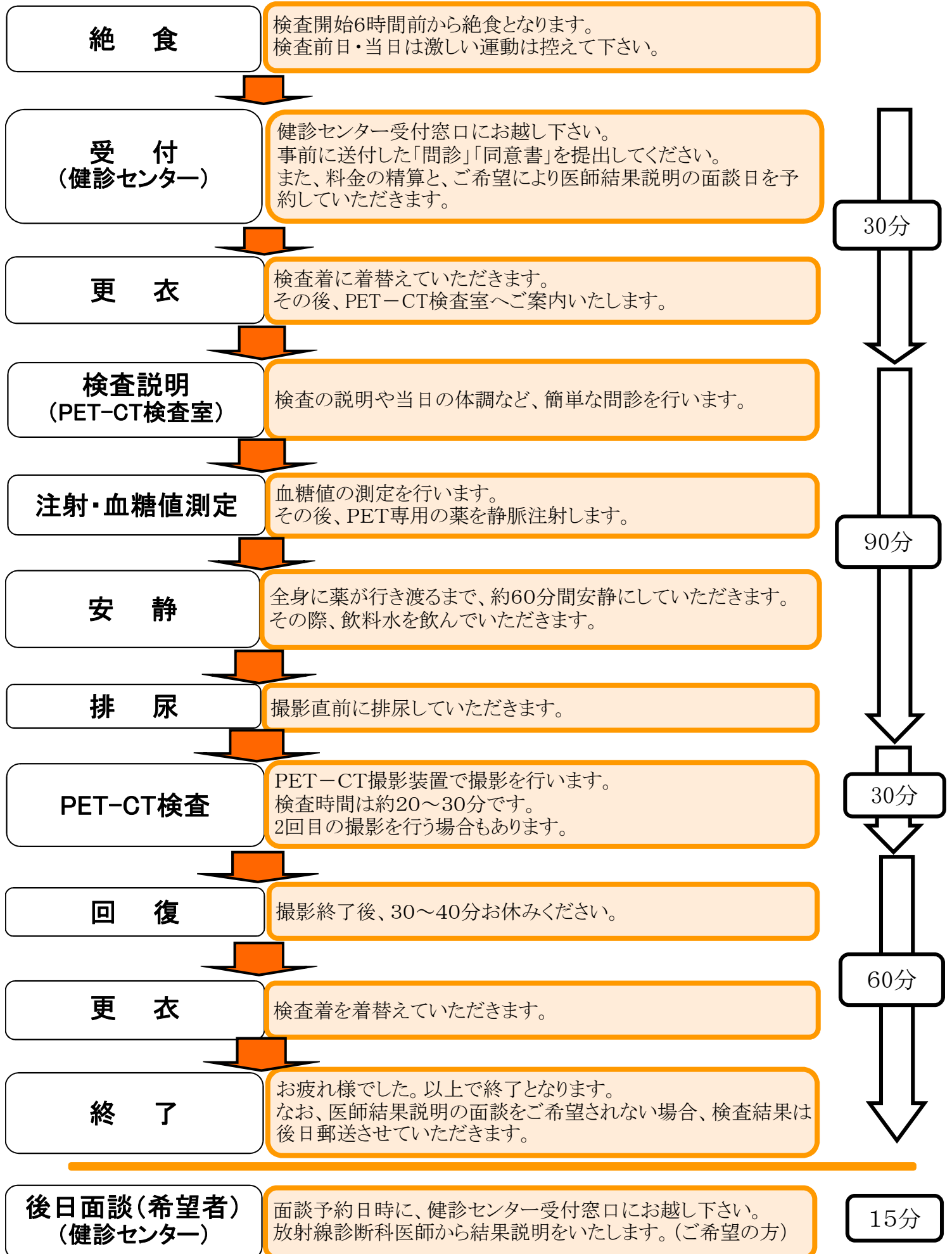
〒728-8502

三次市東酒屋町字敦盛531番地
市立三次中央病院
健診センター

TEL(0824)65-0620（直通）
FAX(0824)65-0621



●PET検診の流れ



●PET検診Q&A

Q PET検診はどのような検査方法ですか？

A PET検診（PET-CT）は、がん細胞が正常細胞に比べて、約3～8倍のブドウ糖を吸収し消費する性質に着目した検査方法です。

PET-CT検査で使うFDGという薬剤はブドウ糖によく似ているため、がんは細胞に取り込もうとします。がんが集まった薬剤をPET-CT装置で撮影することで、がんの有無や大きさ、転移などがわかります。（がんの種類や部位によっては見つかりにくい場合があります。）

Q 一般的ながん検診とPET検診との違いは？

A 一般的ながん検診では、胃、大腸、肺といったそれぞれの臓器ごとに検査を行いますが、PET-CTでは、ほぼ全身のがんのチェックが一度に可能です。

PET-CTは、がん細胞の活動の状態を撮影しますので、自覚症状のないがんの早期発見に有効です。（がんの種類や部位によっては見つかりにくい場合があります。）

Q PET検診により痛みや不快感はありますか？

A 検査で使う薬剤を静脈注射する際の痛み以外では、痛みを伴うことはありません。撮影は検査機器の上におお向けに横になるだけです。検査に際して痛みや不快感はほとんどありません。

Q PET検診で使う薬剤の副作用や放射能の影響はありますか？

A 検査で使う薬剤による重篤な副作用については、これまで報告されていません。また、検査で受ける被ばく量は全体で約10～15ミリシーベルトで、この被ばくが医学的に問題となる可能性は極めて低いと考えられています。

Q 検査を受けるときに注意することはありますか？

A 検査は糖の代謝が影響しますので、検査前の最低6時間以上の絶食が必要です。（糖分を含まない水は飲んでもかまいませんが、ガムや飴、ジュース等糖分の含まれる飲み物などを含めて食事は取らないでください。）

また、筋肉を使うとその場所に薬剤が集まりますので、前日の激しい運動等は避けてください。なお、妊娠中の方へはこの検査は行いません。